



弁天小学校

所在地 〒552-0007 港区弁天2丁目9番35号

TEL 06-6573-5812

FAX 06-6574-6489

校長名 原田 聡(はらだ さとし)



学校の紹介・校長メッセージ

本校は、昭和45年4月、波除小学校と磯路小学校の2校の校区の一部を分離再編して、1・2年生431名で開校しました。昭和49年4月に全学年がそろい、児童数は1172名にのびりました。令和元年6月に創立50周年を迎え、令和2年2月にはプールの場所に新体育館（屋上プール設置）が完成しました。

弁天小学校の校訓

〇もちまえ
(自分のよい特性を発揮)

〇きんろう
(協力や奉仕の喜び)

〇つながり
(相互のあたたかい連携)

私たちは、3つのことを大切にしています。
 ・子どもたち一人一人が自分を信じ、自分を愛して、自分のもっている力をしっかり発揮できるように育みます。
 ・子どもたちが互いの違いを認め合い、尊重し合って、人のためになろうと努力できる子に育みます。
 ・新たな出会いを大切に、互いの良さを認め合い、協力し合う心を育みます。
 令和元年度、創立50周年を迎え、令和2年2月22日に新体育館の落成とともに、多くの保護者や地域の方々とともにお祝いしました。全校を代表して6年生が記念式典に参加し、お祝いの演奏を行いました。
 今年度も昨年度に引き続き、一日、一時間を大切に、「地域の宝」である弁天小学校の子どもたちが、輝きながら成長していけるように指導してまいります。

弁天小の目指す教育

学校目標 「生きる力」をはぐくみ 人間性豊かな子どもを育てる。

弁天っ子はとても素直です。運動場で、仲間と元気いっぱい走り回ったり、ボールを追いかけたりしています。また、図書室で読書をしたり、音楽室で楽器の練習をしたりしている子どももいます。みんな、自分の興味のあることに一生懸命取り組んでいます。どの子にもよさがあります。「自分のよさに気づき、自分を大切にしたい」「自分と同じ様に仲間のよさに気づき、仲間を大切にしたい」と強く願っています。
 どの子もみんなかけがえのない輝く命を持った子どもです。その命が輝くためには仲間とのつながりが必要です。仲間とともに様々な体験をすることで、互いのよさに気づくことができます。互いに助け合い、共に学び合うことの素晴らしさに気づきます。その様な人と人とのつながりが学び舎のあちこちらにでき、温かい雰囲気包まれた弁天小学校となることをめざしています。
 時にはよくない心が表れることもあるでしょう。そんな時、自分でプレーキをかけられるように、周りが止められるように、心を耕し成長させていきます。言われたことは素直に聞こうとする弁天っ子です。そこから一歩進んで、自分で考えて行動できる子になってほしいと願い、子どもたちに働きかけています。

共に輝け！弁天っ子 命の大切さ、自然の素晴らしさを身近に感じて

弁天小には2つの池があります。十字池とメダカ池です。初夏には、十字池に水蓮が真っ白な花を咲かせます。池の中にはメダカやザリガニがいます。みんなの人気者です。また、校庭には弁天山があります。四季折々の植物を観察することができます。



運営に関する計画

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

- 【学校の年度目標】
 ●学力経年調査において、各学年の各教科の標準化得点を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度よりも向上させる。(令和2年度の各学年の標準化得点 3年生：98.9 4年生：99.4 5年生：92.2 6年生：96.9)
 【全市共通目標】
 ●学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 【全市共通目標】
 ●学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
 ●学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。
 ●全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である握力の平均の記録を、令和元年度より1ポイント向上させる。

●令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

平均正答率 (%)	
国語	算数
60	65

本校の平均正答率は、大阪市平均(国語58 算数65)には達したが、全国平均を下回っている。平成30年度までの傾向として、学力の二極化が顕著にみられていたが、その傾向が和らいでいる。正答数の少ない層が減り、ふたごぶのラクダ型であったグラフの下位層のピークが解消している。基礎・基本を大切にしたり取り組みの成果が表れつつある。しかし、国語では「言語についての知識・理解」、算数では「量と測定」領域が平均を大きく下回っている。

【国語】平成30年度と比較して上昇している。令和元年度は大阪市の平均を上回った。しかし、全国平均は下回っている。平成30年度より正答率が高かった、漢字の問題の正答率が低くなっていることが課題である。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は、全国と比較して10ポイント低い結果であった。
 【算数】国語と同様、平成30年度と比較して上昇している。令和元年度は大阪市の平均に達したものの、全国平均は下回っている。「量と測定」領域が、全国と比較して低い正答率であった。二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを考える問題の正答率が全国と比較して10ポイント低い結果であった。この問題は、資料の特徴を関連づけて考える力が必要である。発展的・応用的な問題に課題があるといえる。
 【アクションプラン】児童が言語や文章に興味を持ち、進んで学ぶことができるように、週1回の視写の活動を継続的に取り組んでいる。読書活動の充実のために、これまで取り組んできた年間50冊100冊読了者の表彰、図書館ボランティアとの連携、「絵本ひろば」活動、絵本の読み聞かせ会などを積極的に行う。算数科において、確かな理解を促すため教材研究に努め、指導方法の工夫を行い「算数的活動の充実」を図る。また、異学年交流として「学び合い」の活動を実施する。児童の表現する力を育成し、学び合うことでより深い理解につなげることができるようになる。

●令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

項目	握力 (kg)	上体起こし (回数)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回数)	20mシャトルラン (回数)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点
男子	20.05	20.75	35.18	34.45	52.93	9.10	150.84	25.84	54.98
女子	17.74	19.34	38.87	31.73	36.22	9.33	139.82	14.35	55.14

これまでほとんどの項目で大阪市の平均を下回ってきたが、令和元年度は、多くの項目で平均を上回った。「反復横とび」と女子の「20mシャトルラン」が平均を下回ったが、平成30年度・令和元年度と年を追うごとに向上している。これまで本校の課題であった「上体起こし」と「20mシャトルラン」も向上している。本校の体力向上に向けた取り組みが、成果につながっていると言える。「上体起こし」と「20mシャトルラン」は、これまで平均を大きく下回ることが多かった。しかし、この2種目も向上した。
 【課題】課題は2つある。一つは「反復横とび」である。俊敏性を養う運動を体育の授業に盛り込んだり、動きのポイントを指導したりして、令和元年度よりもポイントの差を小さくしていく。もう一つの課題は、スポーツへの関心が低い児童がいることである。積極的に運動に取り組んでいる児童が多い反面、運動をしない児童もいる。運動や健康に関する意識が二極化している。下位層の割合を肯定的な回答へつなげ、二極化の解消を図る。
 【アクションプラン】新型コロナウイルス感染症防止策を講じながら、引き続き「なわとび月間」「弁天アスレチック」の取り組みを可能な範囲で行い、児童が積極的に外へ出て、楽しみながら体を動かすことができるようにしたい。また、児童の基本的な生活習慣の確立をめざし、多くの保護者に協力いただけるよう取り組んでいきたい。新体育館とこれまでの講堂の施設をうまく生かしながら子どもたちの体力の向上を図りたい。

1年間の主な行事

4月	入学式 1学期始業式 1年生を迎える会	11月	全校遠足 作品展 土曜授業
5月	運動会	12月	期末個人懇談会 2学期終業式
6月	新体力テスト 土曜授業	1月	3学期始業式 6年生卒業遠足 土曜授業
7月	プール開き 期末個人懇談会 1学期終業式	2月	1年遊びの名人
8・9月	2学期始業式	3月	卒業を祝う会 卒業式 修了式
10月	5年林間学習 6年修学旅行		

※運動会：令和3年度は運動発表会として9月に実施
 ※林間学習：令和2年度より10月に実施



修学旅行 広島平和公園

6年生は修学旅行で、平和について学習するため、広島平和記念公園を訪問し、原爆資料館や慰霊碑をめぐる。また、大久野島に宿泊して、自然体験活動も行います。



全校「学び合い」

本校では平成25年度より『学び合い』の活動を行ってきました。全員が課題を達成できるように協力します。異なる学年が、同じ場所で学ぶ活動は本校の特色ある取り組みの一つです。



全校遠足(弁天フレンズ活動)

弁天フレンズ班は、1年生から6年生が1年間共に活動するたてわりの班です。毎年、秋の遠足で長居公園や大阪城公園に出かけます。6年生のリーダーを中心に楽しく活動します。